

受 験 の し お り

受験当日までに本しおりを熟読し、不明な点があれば事務局までお問い合わせください。
 受験者の皆さんには健康に留意され、試験当日は日頃の力を遺憾なく発揮してください。

1. 試験会場

- ・ 学科試験【北部会場】 福知山市総合福祉会館
 (〒620-0035 京都府福知山市内記 10-18)
- ・ 学科試験【京都市会場】 京都市聴覚言語障害センター
- ・ 実技試験会場 京都市聴覚言語障害センター
 (〒604-8437 京都市中京区西ノ京東中合町 2 番地)

2. 試験当日のスケジュール

	12月18日(土)			12月19日(日)	
	午前 学科試験 【北部会場】	午前 学科試験 【京都市会場】	午後 実技試験 (パソコン)	午前 実技試験 (手書き)	午後 実技試験 (手書き)
試験会場 入室開始時刻	09:00	09:00	12:00	08:30	11:00
集合(説明開 始)時刻	09:40	09:40	12:30	09:00	11:30

<注意>

- ・ 集合(説明開始)時刻以降は、試験会場(部屋)から出ることはできません。
 受付やトイレ等を済ませた状態で着席してください。
- ・ 試験会場入室開始時刻までは、会場(建物)に入らないでください。
- ・ 京都市会場では、正面玄関から入らず東側外階段を利用して2階へ上がってください。
 (当日、会場の貼り紙をよく確認すること)
- ・ 公共交通機関が遅延した場合も、説明開始後の試験会場への入室は認められません。
- ・ 指定時間外の待機場所や試験会場、無用な場所への立ち入りはご遠慮ください。
- ・ 試験会場の駐車場は利用できません。公共交通機関を利用してください。

3. 持ち物

- 【共通】 ・受験票 ・受験のしおり
- 【学科試験】 ・HB～Bの鉛筆またはシャープペンシル ・消しゴム
- 【実技共通】 ・スリッパ（ガイダンス室および実技試験室で使用）
・脱いだ靴を入れるための袋（レジ袋など）
- 【手書き実技】 ・油性中字ペン ・手袋 ・練習用ロール及びロール入れ
※本番用ロール及びロール入れ、はさみは持参不要です。
※ペン、手袋には名前を書かないでください。
- 【パソコン実技】 ・入力用パソコン（下記4点の条件を満たしていること）
1. IPtalk がインストールされている
2. 前日にウイルスチェックを済ませている
3. IPアドレス「10. 26. 16. 100」（※）を設定している
（※）試験時は全員同じ IP アドレスを使用します
4. 映像出力端子（VGA、HDMI など）の確認ができています
・LAN アダプター（必要がある人のみ）

<注意>

試験会場では、試験終了後会場を出るまで携帯電話の使用はできません。
電源を切り、指定の封筒に入れた上で、カバンに入れていただきます。
試験会場（建物）を出るまで封筒から出さず、電源は入れないでください。

緊急連絡がある場合に限り、下記連絡先を伝えていただき、連絡を取ることは可能です。
電話 080-7831-6940 京都府・京都市要約筆記者認定試験 事務局

4. 学科試験について

【試験中、机の上に置けるもの】

- ①受験票
- ②HB～Bの鉛筆またはシャープペンシル
- ③消しゴム
- ④時計（計算機・通話・通信機能のないもの）※アラームはオフに設定
- ⑤メガネ・ハンカチ・ティッシュペーパー

5. 実技試験について

(1) 試験方法

試験問題の音源（約10分）を聞いて、一人で筆記または入力を行います。（試験問題は1問です）
筆記または入力された内容をスクリーンに投影し、ビデオカメラで撮影します。
受験番号順に、2名同時に実施します。

【手書き】

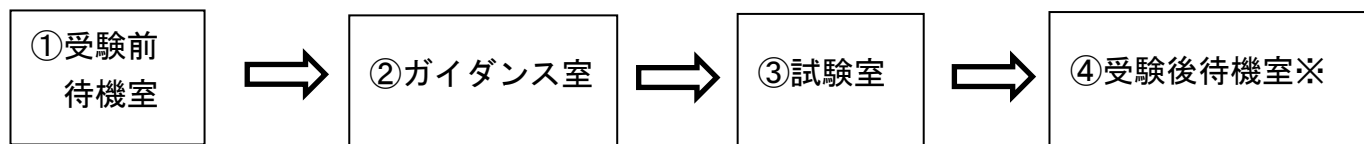
OHCは設置されています。補助（サブ・引き手）はありません。
自分でロールを（向こう側へ）送りながら書きます。

【パソコン】

自身の入力用パソコンを、HUBを通して表示用パソコンとLAN接続して入力します。
LANケーブルは準備されています。

(2) 当日の流れ

以下のとおり部屋を移動します。移動の際はスタッフの指示に従ってください。
元の部屋には戻りませんので、荷物をすべて持って移動してください。



※19日午前の受験者のみ、④の受験後待機室に移動します。

①受験前待機室

指定された席で待機します。受験の順番により待機時間が異なります。
待機中、参考書等の閲覧に制限はありません。

【手書き】

持参したロールや紙に筆記練習をすることができます。

【パソコン】

パソコンで入力練習をすることができます。

電源に限りがあるため、練習時の延長コードは各自で持参してください。

※ただし、パソコンでインターネットやメールなどを利用することはできません。

②ガイダンス室

受験票による本人確認の上、受験番号順に2名ずつガイダンスを実施します。
試験問題のテーマを伝え、試験室での手順について資料を配付して説明します。

【手書き】ペンや手袋を準備します。

【パソコン】パソコンの起動等の準備をし、起動したまま試験室へ移動します。

③試験室

指定された席に着き、ガイダンス室で配付した資料に沿って準備をします。

【手書き】

頭がOHCカメラに映り込まないように注意してください。OHCに頭が入り込み撮影に支障をきたす場合は、スタッフが肩に触れて合図をしますので姿勢を正してください。

【パソコン】

予測不能な機器トラブル等が生じた場合を除き、試験時間延長等の措置は講じません。

また、ログは保存しない設定とし、保存した場合は不正とみなします。

入力画面設定は自由ですが、8人モニター・連絡窓・前ロールの各ウィンドウは不要です。

<注意>

他の受験者の映像を故意に見た場合や、「手を止めてください」という指示に従わない場合は不正とみなし、受験を無効とする場合があります。

受験後に確認された場合も同様ですので、ご注意ください。

④受験後待機室

19日午前の受験者は、スタッフの指示に従い、私語をせず移動してください。

6. その他注意事項

- ・18日のパソコン実技受験者は、館内の指定された場所で昼食をとることができます。19日の受験者は館内で昼食をとることはできません。
- ・会場の室温が調整できない場合があります。調節のできる服装で来場してください。
- ・実技試験時はスリッパへの履き替えが必要です。着脱しやすい靴で来場してください。

7. 試験結果の通知

2022年3月下旬（予定）、受験者に郵送にて通知します。

8. 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

受験にあたり、下記の注意事項をよく読み、十分留意してください。

- ・必ずマスクを着用し、発熱・咳等の症状や体調不良が見られる方、濃厚接触者の可能性がある方は、受験をご遠慮ください。
- ・試験会場へ入る際には、必ず検温と手指のアルコール消毒をお願いします。
- ・体調に異変を感じた場合は、試験中であっても早急に報告し退出してください。
- ・トイレ使用後は、必ず手指のアルコール消毒をしてください。
- ・試験室や待機室では頻繁に換気を行うため、各自で防寒対策をしてください。
- ・大声を出さず、できる限り会話を控えてください。
- ・京都市会場2階のロビーやトイレは使用できません。（※待機中にスタッフが誘導した場合を除く）

9. 問い合わせ先／緊急連絡先

【問い合わせ先】

京都府・京都市要約筆記者認定試験 事務局
(社会福祉法人 京都聴覚言語障害者福祉協会 法人事業本部 地域福祉統括事業部
意思疎通支援部 養成事業課)
電話 075-841-8337 (平日9~17時)

【緊急連絡先】

12/18(土)、12/19(日) 9~17時
電話 080-7831-6940 (事務局)

※試験当日に不測の事態が生じた場合は、速やかに緊急連絡先にご連絡ください。

ただし、深夜早朝の時間帯(9~17時以外)のご連絡はご遠慮ください。

※事務局から緊急の連絡をする場合がありますので、上記番号の登録をお願いします。